

映像を実像に近づけるソリューション。
“KIKUCHI MAGIC”
 映像世界をリアルに表現する。

ヒアリング／オリエンテーション
 (情報収集)

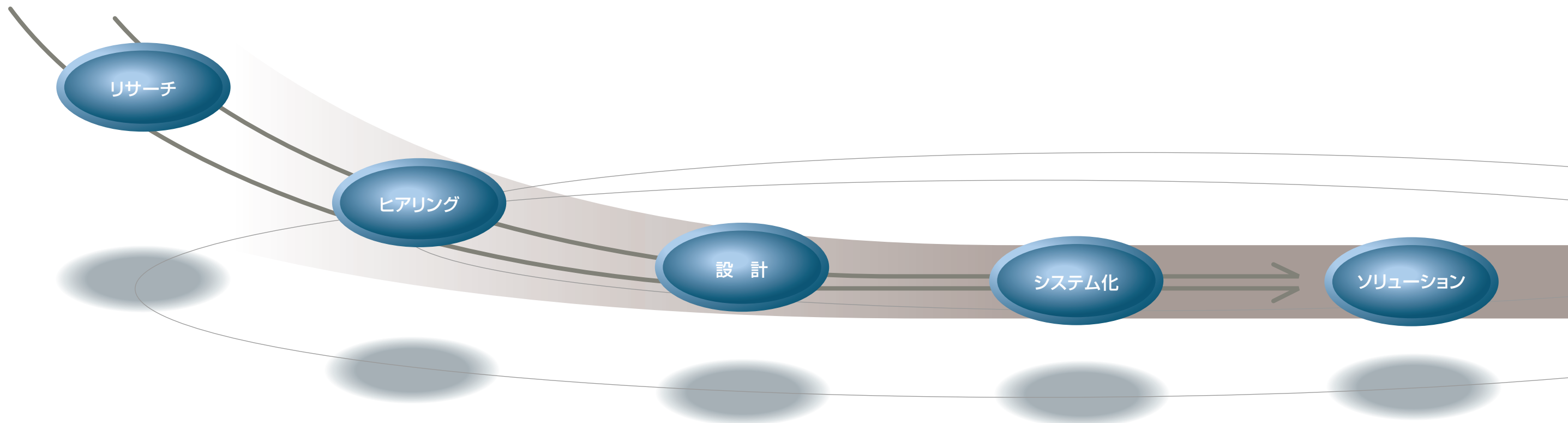
スクリーンを導入するにあたって重要な事はその使用用途と環境です。スクリーンにはその用途によってスクリーンの大きさ／解像度／視野角等、設置環境に合わせて満たすべき条件がありますが、それら条件を満たすことが環境によっては難しいことが多くあります。まず、環境条件を正しく把握し、一つ一つを克服するためにキクチでは、お客様の環境・条件をヒアリングさせて頂き、独自のリサーチフォーマットに記入する事から始めます。スクリーンの使用用途や、視聴者との位置関係、外光／迷光の状況、投影のためのスペース等々、物理的条件をはじめ使用者の嗜好や要望をさらに、ヒアリングして行きます。

ベストセクション
 (技術開発)

プロジェクターの進化によってスクリーン素材も進化してきました。スクリーンには、どのような環境の中でも最良の画像を再現するというオールマイティな素材はありません。また、使用される環境の中での外光の影響もあります。キクチは光工学の情報を常に蓄積し、それをスクリーンという実用段階へ進化させ、その映像品質を向上させるべく製品を開発してきました。また、自社開発製品はもとより、グローバルネットワークを駆使し、アメリカ、スチュワート社等からの優れた製品もセレクトできる用意をしています。

ベストソリューション
 (設計)

スクリーン上に映像を再現するには、スクリーンとプロジェクターそして視点の3つの位置関係を常に考えなければなりません。それらを、光学／工学／電気工学の観点から分析し、システム化して行きます。その位置関係を限られた空間の中で最適条件へ配置するためには、ノウハウと最新の施工技術が要求されます。キクチは常に、情報の蓄積と技術開発に努め、スクリーン素材と周辺機器の開発を考えてきました。近年、コンピューターテクノロジーの進化によりCGや映像処理の技術が発達し、平面だった映像を立体的に再現することが可能になりました。また、バーチャル・リアリティの世界を構築するため、スクリーンも立体表現の世界へ進んできています。キクチの特殊スクリーン技術が、それらの映像の再現をサポートしているのです。現在のそして将来の映像システムを構築するため、実像により近く再現するシステム設計(ソリューション)をキクチは追究しています。



K I K U C H I の ソ リ ュ ー シ ョ ン

よりリアリティのある画像を求めて、より美しい画像をもとめて。私たちは、一途に走り続けてきました。そしていま、たどり着いたのがソリューションの世界です。だれもが満足し、映像の世界に遊び、楽しみ、想像力をかきたてることのできる画像を提供するために、私たちはゼロからのご提案をさせて頂いております。スクリーンメーカーであり、スクリーンマジシャンでありたい、KIKUCHIはそう考えています。